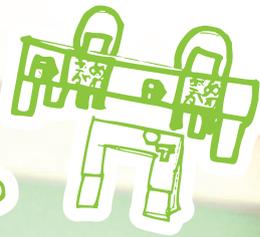


さめがわ村



No
144

平成28年5月

みんなの 議会だより

題字：青生野小学校
6年 山形 祐貴さん



今日から
ピカピカの
一年生～!

3月定例会

高校生就学支援など可決!

3月定例議会・臨時議会 …… 2~6

第3回こども模擬議会開催 7~9

一般質問に9議員登壇 …… 10~19

追跡! どうなったっぺ?

あの一般質問 …… 20

村民の広場 …… 21

ふるさと鮫川への想い …… 22

村外生徒通学支援金など

29億3000万円

前年度比
10.7%の減



大樂勝弘 村長

3月定例会は、3月7日から11日までの5日間の会期で開かれた。今定例会では、平成28年度各会計10件の当初予算案をはじめ、27年度補正予算案等8件、条例の制定及び一部改正が19件、専決処分の承認1件、公の施設の指定管理者の指定について7件、過疎計画の策定1件、辺地計画の変更2件の48議案と報告事項1件、議員発議の意見書2件が審議され、全ての議案を原案のとおり可決した。

また、一般質問では、9名の議員が登壇し村政全般について質した。

教育関連事業重視の 予算編成

10会計の平成28年度予算総額は、43億2030万6千円、前年度比3億9875万7千円(8.4%)の減となっている。

〔左表のとおり〕

一般会計は、29億3000万円で、前年度比3億5000万円(10.7%)の減額予算となった。新たな事業としては、森林所有者情報システム整備委託、村道旧給食センター線側溝布設替え工事、ポンプ自動車購入、高校通学支援金、修明鮫川校村外生徒通学支援金、児童生徒通学用スクールバス購入、公民館来客用トイレ改修・大集会室エアコン設置工事などが主なもの。

財源では、村税など自主財源はほぼ同程度、地方交付税は国勢調査結果から減少を見込んでいるが、国県支出金の活用、財政調整基金繰入等の措置を講じ、第4次振興計画の施策を進める予算編成となっている。

主な事業と予算

- 財産台帳整備業務 499万9千円
- 移動通信用鉄塔施設建設工事 2599万円
- 地域おこし協力隊活動費(3名) 1233万8千円
- 臨時福祉給付金給付事業 300万円
- 菽地区・大久保農道整備事業 3800万円
- 緑のふるさと協力隊事業 223万円
- 森林所有者情報システム整備業務 502万9千円
- 小くしま森林再生事業 7502万3千円
- 道路維持工事(村道旧給食センター線側溝布設替え工事など) 1800万円
- ポンプ自動車購入 2106万円
- 高校生通学支援金 1212万円
- 修明高鮫川校村外生徒通学支援金 518万4千円
- 教育施設補修費(鮫川小学校トイレ改修など) 1086万7千円
- 児童生徒通学用スクールバス購入 1544万4千円
- 公民館事業(来客用トイレ改修・大集会室エアコン設置など) 1122万5千円



高校生通学支援金、修明高鯨川校

平成28年度予算が決定

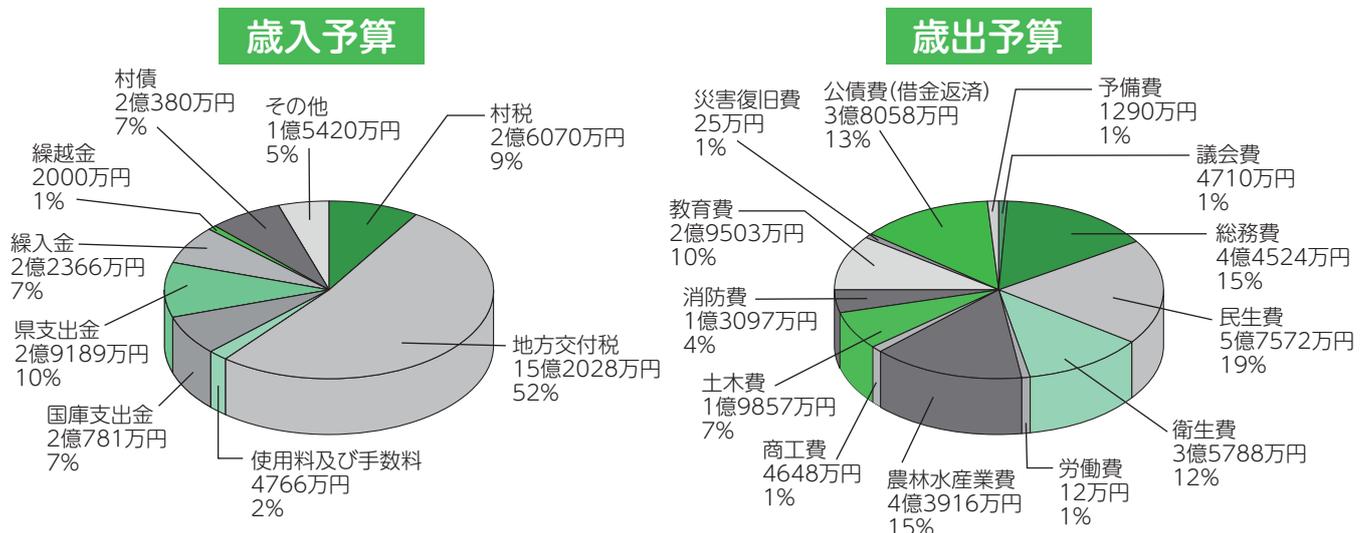
一般会計

■ 新年度の予算額

会計別	28年度予算額	27年度予算額	伸び率	
一般会計	29億3000万円	32億8000万円	△10.7%	
特別会計	国保事業勘定	5億1271万4千円	5億1863万9千円	△1.1%
	国保直診勘定	7183万8千円	6938万円	3.5%
	簡易水道事業	1億6020万6千円	1億9974万7千円	△19.8%
	村営バス事業	772万5千円	773万円	△0.1%
	集落排水事業	3331万3千円	3149万3千円	5.8%
	介護保険	4億4947万7千円	4億6013万6千円	△2.3%
	交流施設	1379万8千円	1370万円	0.7%
	学校給食	1億591万2千円	1億309万2千円	2.7%
	後期高齢者	3532万3千円	3514万6千円	0.5%
	小計	13億9030万6千円	14億3906万3千円	△3.4%
合計	43億2030万6千円	47億1906万3千円	△8.4%	

※平成28年度より国民健康保険特別会計の事業勘定・直診勘定を分割し、10会計となります。

■ 一般会計予算状況



議案調査

議会開会中に各常任委員会は、議案の内容について調査を行い、詳細について各課長などから聞き取り検討調査した。



産業厚生 常任委員会

調査内容(主なもの)

- 森林所有者情報システム整備業務
- ふくしま森林再生事業
- 直売所運営協議会決算報告(第10期)
- 焼却炉監視委員及び仮設焼却炉放射能分析業務
- 橋梁点検業務
- 村道台帳整備業務
- 国民健康保険特別会計直診勘定
- 白河地方広域市町村圏整備組合第二次救急医療運営費負担金
- 埴厚生病院運営費負担金
- 医師確保



総務文教 常任委員会

調査内容(主なもの)

- 財産台帳整備事業
- 職員の降給に関する条例
- 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 移動通信用铁塔施設建設工事
- 商工業振興事業費
- 観光推進事業費
- 鹿角平観光牧場管理運営事業費
- 地方公共団体情報セキユリティ強化対策業務
- 教育費施設改修工事
- 高校生通学支援金
- 修明高鰲川校村外生徒通学支援金

代表質疑(要旨)

平成28年度 一般会計予算について 総務文教常任委員会



遠藤 貴人 議員

問 次の2点について伺う。

① 高校生通学支援金1212万円及び修明高鰲川校村外生徒通学支援金518万4千円について、村内村外の転入学生及び中途退学者の把握措置を伺う。

答(村長) 現在、幼稚園児から小学生がいる世帯の転入があった場合には、その住民異動票を教育委員会へ回付している。4月以降は、高校生が含まれる世帯の転入があった場合には、窓口で支援金パンフレットを申請案内するほか、教育委員会に住民異動票を回付し、請求漏れがないように連携させていきたい。中途退学者については、申請

平成28年度 一般会計予算について 産業厚生常任委員会



京條 英征 議員

問 次の2点について伺う。

① 館山公園管理業務205万3千円について、今後の管理業務の展望と見通しについて伺う。

答(村長) シルバー人材センターへ委託する予定であり、業務内容は約3キロメートルある遊歩道の管理、植栽した樹木の管理や補植、遊具の管理、トイレの清掃などの業務を毎週2回、冬期間は週1回程度委託する予定である。今後の展望と見通しは、貴重な文化財を生かしつつ、住民に愛される公園づくりを目指すため、年1回はボランティアを募集し、草刈り作業等を計画する予定である。また、館山公園全体の草刈り作業は、県の補助事業を要望し、効果的な財源の活用を考えており、今後も継続して公園管理に取り組む考えである。さらに、樹木の成長に合わせ、住民の意

見を伺いながら将来にわたり村民が誇れる公園づくりを目指す所存である。

問 ② ふくしま森林再生事業7500万円において、現在までの事業の地区選定方法と周知の方法について、また、今後の周知方法等の計画の進め方を伺う。

答(村長) 福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の影響を受けて林業生産活動が停滞しており、間伐などの森林整備を行うことにより放射性物質の低減や拡散防止を図ることを事業の目的としている。放射線量が村で一番高い青生野地区は大部分が国有林であるため事業実施が困難であり、次に高い戸草地区を優先した。また、本村の森林再生の方針にのっとり、森林の未整備地区である官代、山口、そして真坂、大塩地区を優先地区とし、必要性の高い地区に対して森林再生計画を作成し事業を進める予定である。今後は必要に応じ、地域に対し本事業の情報提供を行いながら事業に取り組んでいく。

補正予算

一般会計

■ 地方公共団体情報セキユリティ強化対策業務に
1733万1千円
■ 高齢者向け給付金給付事業に1350万円
〔地方交付税(普通交付税)は基金に積み立て〕

増額可決

平成27年度一般会計の補正予算(第9号)は原案のとおり、1億2759万2千円を増額可決し、歳入歳出とも35億2244万9千円とした。

今回の補正予算の内容は、個人番号制度導入に係る地方公共団体情報セキユリティ強化対策業務、高齢者向け給付金給付事業、地方交付税普通交付税等の収入増額分の基金積み立てが主なものとなっている。

主な歳入補正

- 村税
個人村民税
784万7千円追加
- 地方交付税
普通交付税
2億3383万3千円追加
- 国庫支出金
高齢者向け給付金給付事業費
1350万円追加

主な歳出補正

- 総務費積立金
公有施設整備基金
6000万円追加
- 総務費委託料
地方公共団体情報セキユリティ強化対策業務
1733万1千円追加
- 総務費負担金、補助及び交付金
財政調整基金
4000万円追加
- 民生費繰出金
国民健康保険特別会計
事業勘定
3884万1千円追加
- 土木費
道路維持補修工事
290万円追加
- 高齢者向け給付金
1350万円追加

会計別	補正額	補正後の予算額	
一般会計	1億2759万2千円増	35億2244万9千円	
特別会計	国保 事業勘定	5085万5千円増	6億341万円
	国保 直診勘定	470万3千円減	7625万2千円
	簡易水道事業	0	1億7218万2千円
	村営バス事業	14万5千円増	1173万円
	介護保険	196万6千円減	4億7651万7千円
	交流施設	0	1421万6千円
	給食センター	51万5千円増	1億697万8千円
	後期高齢者医療	27万円増	3518万2千円
合計	1億7270万8千円増	50億5350万6千円	

補正が行われた8会計。簡易水道事業、交流施設会計の総額は変わらず内容が変更された。

報告

▼ 専決処分報告について
簡易水道 鍬木田配水池整備事業において、工種の変更等により請負金額の減額があり、変更して契約するため平成28年1月21日に専決処分し、報告するもの。

専決処分を承認

▼ 平成27年度一般会計補正予算(第8号)
村民保養施設さざり荘の温泉水ろ過槽のろ過材交換を緊急に実施する必要が生じたため、それらに要する経費及び清掃を行うための予算を増額補正するものと、そのほかの案件について平成28年1月28日に専決処分したものを。

条例の制定・一部改正を可決

▼ 行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例
鮫川村行政手続き条例ほかの関係条例について、引用している法律名の改正、用語の整理等を行う。

行政不服審査会条例

村長の諮問を受けて審査請求に係る事件の調査審議等を行う鮫川村行政不服審査会の設置、組織等に関し、必要な事項を定める。

行政不服審査法関係手数料条例

手数料を徴収することに関し、必要な事項を定める。

職員の降給に関する条例

分限処分の一つとして降給(降格及び降号)の事由や手続きを明確化するため、地方公務員法第27条第2項の規定により条例で定める。

高校生通学支援金支給条例

高等学校に通学する生徒の保護者等の経済的負担を軽減するとともに、子育て環境の向上及び人材育成に寄与することを目的に、通学支援金を支給するための条例を定める。

個人情報保護条例の一部を改正する条例

引用している法律名の改正、用語の整理等を行う。また、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律の規定に合わせる。

人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例

人事行政の運営等の状況の公表に関し、報告事項の一部を追加する。

公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例

条文の整理を行う。

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

引用する条項の整理を行う。

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

村長が委嘱する行政不服審査会委員及び鮫川村鳥獣被害対策実施隊の創設に伴う鳥獣被害対策実施隊員に対する報酬等を規定する。

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

平成27年人事院及び県人事委員会勧告に基づき、職員の給与及び勤勉手当等の改正を行う。
▼ 奨学基金設置条例の一部を改正する条例
鮫川村奨学基金に新たに寄付があったため、奨学

基金条例の一部を改正する。

▼固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例

引用している法律名等の改正、用語の整理を行い、併せて書面等の写しを交付する場合の手数料について規定する。

▼介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部を改正する条例

認知症対応型通所介護について、地域との連携や運営の透明性を確保するため、運営推進会議の設置が義務付けられる。

▼介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービス及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部を改正する条例

介護認知症対応型通所介護について、地域との連携や運営の透明性を確保するため、運営推進会議の設置が義務付けられる。

▼重度心身障害者医療費の給付に関する条例の一

部を改正する条例

条例で引用する条項の整理を行う。

▼村営住宅条例の一部を改正する条例

村営住宅で新たに宿入団地5戸が建設されたことに伴い、村営住宅条例の一部を改正する。

▼定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

水口住宅2・3号が老朽化により解体処分されたことに伴い、定住促進住宅条例の一部を改正し、併せて住宅整備方法の違いによる住宅の区分を明確化する。

▼消防団条例の一部を改正する条例

消防団員の減少に伴い、現状に合った定数とするため、条例の一部を改正する。

その他

▼公の施設の指定管理者の指定について

(鮫川村中の沢集落センター)
(戸倉地区簡易排水処理施設)
(鮫川村村民運動場)

(鮫川村青少年広場)

(富田村民体育館)

(西山村民体育館)

(鮫川村農業者トレーニングセンター)

▼鮫川村過疎地域自立促進計画の策定について

▼辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更に
ついて

(西野辺地)
(西山辺地)

議員発議・意見書の提出を可決

▼福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出

◎意見書は、内閣総理大臣、厚生労働大臣、福島県労働局長に提出した。

▼給付型奨学金制度の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める意見書の提出

◎意見書は、内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、財務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣に提出した。

平成28年度への繰越事業

(繰越明許費)

款	項	事業名	金額 (千円)
2 総務費	1 総務管理費	地方公共団体情報セキュリティ強化対策事業	17,298
2 総務費	1 総務管理費	湯の田地区整備事業	5,000
2 総務費	1 総務管理費	高齢者向け給付金(年金生活者等支援臨時福祉給付金)給付事業	15,160
6 農林水産業費	2 林業費	ふくしま森林再生事業	82,968
8 土木費	2 道路橋りょう費	村道ひだまり荘線維持補修事業	3,000

※繰越明許費とは
予算成立後の事由によって、年度内に支出を終らない見込みのあるものは、あらかじめ議会の議決を経ておけば翌年度に繰り越して使用することができる。

第2回臨時議会

地方交付税特別交付税1億261万円
過年度公共土木施設災害復旧事業費負担金1405万7千円追加
一般会計1億6433万9千円追加可決

第2回臨時議会は、3月25日開催され、平成27年度補正予算7件の7議案が提案され、全ての議案が原案のとおり全会一致で可決した。

補正予算
一般会計(第10号)

平成27年度一般会計補正予算は、歳入、歳出とも1億6433万9千円を増額し、予算総額を36億8678万8千円とした。

主な歳入補正

- ◎地方交付税 1億261万円追加
- ◎特別交付税
- ◎国庫支出金
- ・過年度公共土木施設災害復旧事業費負担金 1405万7千円追加
- ・過年度農業基盤整備促進事業費
- ◎繰入金 1198万8千円追加
- ・公有施設整備基金繰入金 4437万円追加

主な歳出補正

- ◎財産管理費積立金
- ・公有施設整備基金 2億263万2千円追加
- ◎衛生費繰出金
- ・簡易水道事業特別会計 4437万円追加
- ◎農林水産業費
- ・負担金補助及び交付金
- ・農業用施設雪害復旧事業費 512万円追加

会計別	補正額	補正後の予算額
一般会計	1億6433万9千円増	36億8678万8千円
特別会計		
国保(事業勘定)	19万8千円増	6億360万8千円
簡易水道	609万4千円減	1億6608万8千円
村営バス	21万8千円増	1194万8千円
集落排水	10万8千円増	3469万8千円
介護保険	2695万6千円減	4億4956万1千円
学校給食センター	390万4千円減	1億307万4千円
合計	1億2790万9千円増	51億8141万5千円

思いや願いが生かされてほしい!!

「こどもは

村の宝物



先生方の熱心なご指導で活発な質問をする子ども議員



青生野小学校
高橋 諒久 先生

子ども議会に参加して

「代表としてみんなの思いを伝えられて良かったです。また、村長さんについていねいに答えてもらえてうれしかったです。」

これは、青生野小代表議員である、山形祐貴さんの感想です。青生野小の子どもたちは、子ども議会に参加し、議会や行政への興味・関心を高めることができました。私が嬉しかったのは、子どもたちが質問や再質問で「自分の思いを伝えることができた」と感じることができたことです。そして、村長さんや教育長さんが、子どもたちの質問一つ一つ、ていねいに答えてくださったことです。子どもの思いや願いを大切にしてくださいって、それがよく分かりました。

子どもたちは議会に参加するにあたり、みんなで村のことについて真剣に話し合いました。青生野地区や鮫川村に対しての愛着がさらに深まったと思います。このような良い機会をいただき、ありがとうございました。

鮫川村子ども模擬議会では、村の議会制度を学ぶとともに、子どもの視点からの質問や意見を生かしながら将来の村づくりに役立てることができたらと強く願いながら子ども達と一緒に参加することができました。「鮫川村の安全面について」「すばらしい自然を守るための取り組みについて」「三年後、五年後の村の運営ビジョンについて」など、自分たちが住む鮫川村を少しでもよくしよう、住みやすい村にしようと思いを込めて、嬉しく、感心しました。子ども模擬議会を通して、議会制度について理解を深め、鮫川村民の一員として、鮫川村の未来について考えることができました。私自身も子ども達以上に考えさせられるよい機会となりました。

十年後、二十年後、立派な大人になった時、子ども議会で提案したことが生かされ、さらにすばらしい鮫川村へと変わっていくことを期待しています。



鮫川小学校
吉成 美貴 先生



鮫川小学校
関根 陽子 先生

子ども模擬議会に参加し、鮫川村の未来について、子ども達と一緒に考えることができました。

「知名度を上げるために、体験活動を実施してはどうか。」「今のままの自然豊かな鮫川村を残してほしい。」などと、子ども達が提案した意見は、子どもの目線から考えた「なるほど」と納得させられるものばかり。真剣に鮫川村をよりよくしようと考え、意見を述べる子ども達の姿は、とても頼もしく見えました。議会に参加することで、鮫川村の未来について考えるよい機会となったことはもちろんですが、自分の意見を主張することの大切さなど、これからの生き方について大切なことも学ぶことができました。子ども達には、よりよい村をつくるのは自分達なのだという意識をもって、今、自分にできることを実践してほしいです。そして、立派な大人になった時、鮫川村をよりよく変えていく存在の一人になることを願っています。

こども模擬議会で活発な議論

鮫川小、青生野小の8名の子ども議員が登壇し堂々と質問し、質問もあり、村づくりへの活発な議論も交わされました。



鈴木 修希 議長

村民の憩いの場所設置
について



橋本 佳澄 議員

質問
村内にもっと人と人がふれあう場所や子どもからお年寄りまで集うことができる公園などの憩いの場所が必要ではないですか。

答弁 村長

村民の店「すまいる」や「すまめカフェ」も活用して欲しいです。また村の中心部に安全に遊べる公園の設置準備にかかります。

再質問 土手内吉輝議員

森林を生かしたアスレチックはいかがですか。

答弁 村長

館山公園には設置する空間もあります。この雑木林を利用したいと考えます。

再質問 関根 幹議員

遊具や公園に置くテーブルは丸みを帯びた物にすることは可能ですか。

答弁 村長

子どもやお年寄りが使いやすいように角を取る工夫をします。

青生野区民の「すまめ館2号店」について



山形 祐貴 議員

質問
青生野に「すまめ館」のような施設を作り、新鮮な野菜や米を売れば農家の人やお客さんも喜ぶと思うのですが。

答弁 村長

青生野は中心地から離れているために品物が売れる見込みは少ないので、「すまめ館2号店」は難しいと思われます。ただ多目的な施設の整備は区民のみなさんの提案でつくれます。交流が活発になれば、「すまめ館」が出張してもいいと思います。

再質問 棚井 綾香議員

青生野にバスが通っていればお年寄りも気軽に村に行けるのですが。

答弁 村長

村では週1回、木曜日に買い物バスを運行しています。1回で足りないときには2回にしてもいいと考えます。

再質問 岡部 梨音議員

村の中心部にはみんなが集まれる場所がありますが、青生野地区やほかの地区には集まる施設が少ないのです。村長はそれぞれの地区の事をどのように考えていますか。

答弁 村長

青生野地区は鹿角平、クロスカントリーコース、売店の設置で賑わいへの協力をさせていただきます。

館山公園の整備について



須藤 玲奈 議員

質問

館山公園が有効に利用できるように、歩きやすい道の整備や遊具を増やしたり、行ったことがない人でも足を運びやすい公園にして欲しいです。

答弁 村長

館山は村の文化財なので、大型の遊具の整備はできません。今後も環境保護や文化財の保護に力をかけていきたいです。

再質問 我妻 祥佳議員

ほかの地域から来た人に分かりやすい看板を設置したらどうですか。

答弁 村長

そのとおりです。今年度中には標識を立てる予定です。

再質問 阿久津好輔議員

子どもが迷子になったときなどを考え、見通しのいい公園にして欲しいです。

答弁 村長

安全が確認できる施設整備に取り組みます。

村民の憩いの場の設置
について



矢吹 悠葉 議員

質問
僕の通学路には急カーブがあり、車が内側に入り込んだり、また除雪後、かたまりが歩道にあり、タイヤの後を歩いていると車が来て怖い思いをしています。村はこのような歩行者や子ども達が安全に通行するために、危険なところに十分配慮しているのですか。

答弁 村長

村の道路にカーブが多く見られるのは傾斜を回避するためです。除雪は業者に行き渡るだけ広く待機所も除雪するように指導しています。危険箇所については地域住民と協力しながら安全確保に努めていきます。

正々堂々の活発な質問続出!



藤田 百美 副議長

村議会の主催により、第3回子ども模擬議会が開催されました。大楽村長と奥貫教育長が答弁をいたしました。また議会に対しての



再質問 小林 蓮議員

冬期間は暗くなるのが早く、道に街灯を設置して欲しいです。

答弁 村長

村を明るくする運動で皆さんに支障のないように努力します。

鮫川村の知名度を上げる取り組みについて



鈴木 功牙 議員

質問

自然豊かな鮫川村の知名度を上げたいのが僕の願いです。村へのツアーや体験活動を実施し、知名度を上げて人口減少を食い止め、移住する人も出てくると考えますが。

答弁 村長

農家民宿に宿泊する農村体験ツアーを計画しています。また農地を貸して定期的に農業を体験してもらい、村を知ってもらいたいと考えています。

再質問 井坂 光議員

僕たちは紙すき体験をしました。ほかの地域からかなりの反響がありました。紙すき体験はどうですか。

答弁 村長

紙すきには清い水が必要で、村は清い環境のなかであり、いい和紙が取れるし、いい指導者もいるので、取り組みでいきます。

再質問 大平 碧斗議員

バスを運行すればツアーに参加する人が増えると思いますか。

答弁 村長

お客様を送迎するあおぞら号や路線バスの運行回数増便に努めます。

今のままの自然豊かな鮫川村を残して欲しい



舟木 朝陽 議員

質問

村民がみんな優しく、自然豊かで、星がきれいで気持ちよく生活できるこの村を未来に残して欲しいです。「村に足りないことがあったなら村民が協力して解決すればよい」というのが僕の考えです。

答弁 村長

村を残すためには皆さんはじめ、若い人たちの力が必要で、一旦村外に出て戻ってきて、村民が優しく自然豊かな鮫川村を残していく先頭にたつて村を引っ張っていただきたいと願います。

再質問 鈴木 智大議員

村は毎年人口が減少し、少子高齢化が目に見えています。3年、5年後のビジョンは考えていますか。

答弁 村長

清らかな自慢の水と農業を主とし、都会との交流で人口減少に歯止めをかけたかと考えています。

再質問 前田 一成議員

地球温暖化が進み自然災害が多くなると思われます。LED電球など、自然エネルギー

ギーを利用した生活にはどう考えているのですか。

答弁 村長

村は街路灯をLED化を今年度に整備をします。また太陽光発電など再生可能エネルギーの促進を図ります。

鮫川村の自然を守る取り組みについて



木村 天音 議員

質問

緑豊かな鮫川村のすばらしい自然を守り続けていくために、どのような取り組みをしていますか。

答弁 村長

毎週第1日曜日を環境美化の日として村民をあげて美化活動を目指しています。今後も資源の無駄遣いをなくし、今の自然を変えないような各取り組みを村民とともに推進していきたいと考えています。

鮫川村の教育費について



蛭田 樹璃 議員

質問

私達の教育にはたくさんのお金がかかっているのを感じています。それに感謝をしなくてはなりません。村内の学校にどれくらいのお金がかかっているのか教えてください。

答弁 教育長

電気料等の施設の維持費に1319万円、教材費などの活動費に1743万円、スクールバスの委託費に964万円、英語研修宿泊費に330万円の費用がかかっています。これらのお金は地域社会の皆さんが納める貴重な税金が使われているので、しっかりと勉強にはげんでいただきたいと思えます。